

平成 27 年度 事業報告(概要)

“みんなで支えあうまちづくりをめざして”

社会経済の大きな変動により、地域社会における介護や子育てへの不安、障がい者への自立支援、児童、高齢者など要援護者への支援の問題など深刻な福祉課題・生活課題が生まれているなか、みんなで支えあうまちづくりをめざして、住民主体による地域福祉活動を積極的に推進し、平成 27 年度の計画事業に取り組んだ。

法人運営部門においては、適切な事業運営を行うため理事会、評議員会、監事会を定期的に開催し、各種事業の進捗状況や新規事業の内容説明を行いました。また、役員研修を始め、職員研修等を実施し、個々の意識レベルの向上を図りました。また、厳しい財政運営に対応するため、社協事業（地域福祉事業）を市議会に説明し、「社協の行う事業」、「社協そのもの」を議員にご理解いただくとともに、行政職員の参画による経営検討委員会を引き続き行い、中長期的な財政改革プランの遂行、各種事業の精査及び人材育成への取り組み等を図った。

地域福祉事業部門においては、“住民による福祉活動の活性化”を目指して、行政や民生委員児童委員、地区社協等関係団体との連携強化のもとに、高齢者向けの「ふれあい・いきいきサロン」、「子育てサロン」の普及や支援、学生や社会人の福祉意識の啓発を目的とした「福祉体験プログラム」の実施、包括支援センターと連携した地域での「相談事業」の強化を図った。また近い将来確実視されている大地震・大津波に対する防災意識が高まっていることから、これを契機として「大規模災害に対応できる仕組みづくり」を研究し、特に要援護者や災害弱者等に関わる支援の在り方についての取り組みを進めた。

介護保険事業部門においては、利用者確保の取り組みと併せて、効果的・効率的な人員配置の検討及び経常経費の節減に努めながら、各種事業マニュアルに沿った取り組みを進め、介護サービスの質の向上に努めた。

施設福祉事業部門の佐伯市特別養護老人ホーム「豊寿苑」については、これまでの施設経営のノウハウを更に活かしながらサービスの向上に努め、またより地域に開かれた施設づくりをめざして、地域との交流も深めた。

以下に平成 27 年度の具体的各種事業取り組み状況について報告する。

<総務課>

1. 会務の運営

(1) 理事会

会議名	期日	主な議題
第1回理事会	4月20日	評議員の選任について
第2回理事会	5月12日	会長、副会長の選任について
第3回理事会	5月27日	平成26年度事業報告について 平成26年度収支決算について 平成27年度第1次収支補正予算について 評議員の選任について
第4回理事会	7月24日	訪問入浴車両の無償譲渡について(報告) 公の施設の指定管理募集に伴う応募について 評議員の選任について
第5回理事会	10月26日	平成27年度第2次収支補正予算について 定款の変更について 経理規程の一部改正について 運転資金の基金活用について
第6回理事会	3月28日	地域福祉事業人件費補助金について(報告) 平成27年度第3号収支補正予算について 役員報酬規程の変更について 基金の取崩しについて グループホーム(新規事業)の開設について 平成28年度事業計画について 平成28年度当初収支予算について

(2) 評議員会

会議名	期日	主な議題
第1回評議員会	5月1日	役員を選任について
第2回評議員会	5月28日	平成26年度事業報告について 平成26年度収支決算について 平成27年度第1次収支補正予算について 理事の選任について

第3回評議員会	7月24日	訪問入浴車両の無償譲渡について(報告) 公の施設の指定管理募集に伴う応募について 理事の選任について
第4回評議員会	10月28日	平成27年度第2次収支補正予算について 定款の変更について 経理規程の一部改正について 運転資金の基金活用について
第5回評議員会	3月29日	地域福祉事業人件費補助金について(報告) 平成27年度第3号収支補正予算について 役員報酬規程の変更について 基金の取崩しについて グループホーム(新規事業)の開設について 平成28年度事業計画について 平成28年度当初収支予算について

(3) 監事による監査

監査名	期日	
内部監査	4月27日	例月出納監査(2月・3月分)
決算監査	5月18日	平成26年度会計決算監査
内部監査	7月21日	例月出納監査(4月・5月分)
内部監査	9月18日	例月出納監査(6月・7月分)
内部監査	11月19日	例月出納監査(8月・9月分)
内部監査	1月19日	例月出納監査(10月・11月分)
内部監査	3月16日	例月出納監査(12月・1月分)

(4) 各種会議等の開催

- ・管理職会議(15回) ・課長会議(毎週)
- ・経営検討委員会(8回)

2. 社会福祉従事者等の顕彰 (地域福祉課にて掲載)

3. 職員の資質向上への取り組み

新人研修、職員研修(ファンドレイジング)、専門研修(介護・地域)、職場内研修等を通じて、職員の自己啓発を図りながら、業務に対する「意欲の向上」、「能力開発」に努めた。

4. 法令等遵守の取り組み

各種関係法令改定に伴い、関連する事業部の運営体制の整備を行い、職員に内容の周知を図り、公共的使命と社会的責任の重さに鑑み、法令等を遵守した取り組みを行った。

5. 事業計画、予算の立案

事業計画・予算の立案、執行管理及び実現可能な事業量を把握し、費用対効果を意識した事業展開に努めた。

6. 人事労務管理

- 1) 事業の円滑かつ効率的な運営のため、適切な雇用管理を進めた。
- 2) 職員の意識低下を防止するため、職場環境の改善や健康管理を図るため定期健診や健康相談及び安全衛生委員会のもと、職員の安全・衛生管理に努めた。
- 3) 福利厚生事業の一環として各種余暇活動を実施し、支部間職員相互の親睦を図った。

7. 中期的な財政基盤の確立に向けた取り組み(財政改革プランの策定)

直面する厳しい財政状況に対応していくため、経営検討委員会を組織し、中期的な展望のもと、自主財源等の確保と財政基盤の確立に向けたあり方検討を8回開催し、進めてきた。

- 1) 事業規格に応じた収入を目指し、各事業部における収入確保策の検討を行った。
- 2) 事業収入に応じた人件費や事務事業費の調整を図っていく取り組みを進めた。
- 3) 行政補助事業の実情を踏まえ、今後の地域福祉事業の在り方検討を行った。

8. 社協会費の状況

《戸別会員の状況》

H28.3.31現在

区分	金額(円)			口数(件)			加入率(%)		
	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度
佐伯	4,205,430	4,199,030	4,453,220	8,411	8,398	8,906	39.98%	40.07%	44.20%
上浦	386,000	393,800	416,200	772	788	832	79.51%	79.68%	83.40%
弥生	902,800	896,800	927,400	1,806	1,794	1,855	61.70%	61.46%	76.00%
本匠	259,750	262,300	273,500	520	525	547	77.15%	76.09%	79.40%
宇目	535,000	545,500	544,500	1,070	1,091	1,089	81.06%	81.66%	79.80%
直川	299,400	353,200	331,400	599	706	663	64.34%	74.47%	82.90%
鶴見	543,500	569,000	536,000	1,087	1,138	1,072	70.36%	72.90%	66.70%
米水津	343,000	348,800	346,000	686	698	692	74.89%	75.62%	78.10%
蒲江	997,650	1,001,550	1,025,706	1,995	2,003	2,051	60.99%	61.10%	61.60%
合計	8,472,530	8,569,980	8,853,926	16,946	17,141	17,707	50.45%	51.01%	54.90%

区分	金額(円)			口数(件)		
	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度
賛助会員	255,000	258,448	277,500	510	517	555
団体会員	71,740	139,610	60,000	143	279	120

<地域福祉課>

1. 地区社協事業の推進

(1) 地区社協の活動支援

- 各支部からは地区社協の運営支援を行い、さらにイベント用品の貸し出しや研修参加への支援を行うとともに、協働して事業を実施するなど側面的な支援を行った。
- 社協会費・歳末募金を財源に地区社協の運営費を補助した。

(2) 地区社協会長・事務局長会議の開催

- 地区社協会長・事務局長会議(1回)

☆平成 27 年度 地区社協の主な活動

地区社協名	主な活動内容
佐伯	配食サービス、グラウンドゴルフ大会、視察研修 普通救命講習、
灘	グラウンドゴルフ大会 ミニバレーボール大会 配食サービス 健康づくり体操
渡町台	サロン連絡協議会 配食サービス 視察研修 ふれあい社協まつり 親子天体観測 ひまわり文庫まつり とまちっこ子どもまつり 会報「ときめき」発行 地域座談会
佐伯東	配食サービス ほのぼの作品展 ほのぼのお月見会 視察研修 グラウンドゴルフ大会 広報誌「きずな」発行 防災研修会
上堅田	健康づくり歩こう会 こども祭り 給食サービス 福祉研修会 ふれあい広場 地域座談会
大入島	救急救命講習会 視察研修 島っ子まつり ボランティア研修会 給食サービス 人権同和教育講演会 愛の花・愛のおたより配布
鶴岡	福祉教室 サロン交流会 視察研修 ほのぼのネット事業 トロの広場事業 シルバーと子どもの集い
八幡	視察研修 給食サービス 社協&健康まつり
西上浦	ふれあい夏祭り 西上浦健康まつり ひな弁当配布 健康づくり教室 視察研修 サロン連絡協議会 西上浦こども教室
下堅田	鮎かけの集い ふるさとふれあい広場 愛の正月もち配布 配食サービス 視察研修 さ〜いき生き健康づくり堅田 ふれあい料理教室
青山	配食(弁当、餅)サービス 防災研修(炊き出訓練) 視察研修 秋の収穫祭(ふれあいサミット)参加 市民体育祭青山地区大会参加
木立	親子ふれあい夏祭り 社協委員研修会・地域座談会 敬老会 ふれあい公民館祭り 給食サービス 視察研修 ほたるの鑑賞会 木立川岸清掃 いきいきサロン交流会 盆踊り大会 元越山登山会 さいき 903 クリーンアップ大作戦
上浦	ふれあい交流グラウンドゴルフ・ペタンク大会・救急法講習会・夏祭り・非常用傘設置事業
弥生	視察研修 保育所との合同芋掘り会 独居高齢者・高齢者世帯クリスマスケーキ配布事業・弁当配布事業 歳末たすけあいお餅配布事業 グラウンドゴルフ大会 地区社協広報誌発行 県内一周駅伝選手応援・支援 身障ふれあいの集い
本匠	ふれあいの集い 歳末もちつき事業 普通救命講習 ふれあい配食 災害ボランティア研修会 本匠お楽しみ会協力事業 視察研修
宇目	独居高齢者ふれあいの集い あんしん見守り隊啓発活動 地区社協だより発行 地区内夕暮れ・老人クラブグラウンドゴルフ大会お茶提供 地区納入袋作成
直川	男性料理教室 三世代交流スポーツ大会 防災研修 高齢者クリスマス配食 地域支援事業 絵手紙配布 地区社協だより 小学生とのお茶摘み交流

鶴見	新春ふれあいカラオケ大会 地区スポーツ大会助成事業 防災研修事業 歳末福祉もちつき大会
米水津	ふれあいスポーツ大会 健康講座「高血圧症について」 高齢者福祉センター 利用者との交流会 地域ふれあい子ども夏まつり ふれあい配食サービス 視 察研修 安心安全なまちづくり事業(防災標語の看板づくり)
蒲江	地区社協会長杯ふれあいスポーツ大会 蒲江安全安心マンボウ隊(見守り活動) 福祉関係者研修会 お元気ですか弁当事業 別府市石垣地区社協視察受け 入れ 九重町ボランティア東との意見交換会

2. ふれあい・いきいきサロン事業の推進

(1) ふれあい・いきいきサロンの現状

○高齢者の介護予防の推進を図るとともに、引きこもりを予防し社会参加が保てるよう、レクリエーションや健康体操を取り入れて実施した。

現在、193ヶ所で開催されている。

<ふれあい・いきいきサロン>

3月31日現在

支部名	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
合計数	74	5	34	9	17	15	12	8	18	193
(新規)	3	0	0	0	1	0	1	1	0	6
(廃止)	3	0	0	0	1	0	0	0	0	4

○大分県地域のつながり応援事業(若者が参画するサロンモデル)として実施

- ・新豊南高校教諭・大分県地域福祉課担当者・3か所のサロン代表者との打ち合わせ(2回)
- ・新豊南高校生がサロンに出向き体験・冬休み期間高校生がサロンに参加
- ・新豊南高校で交流(サロン参加者31名・高校生34名)

○大分県地域のつながり応援事業(圏域別サロン会議)

実施日 H28年1月27日 13:30~15:30

実施場所 竹田市総合社会福祉センター

対象圏域 竹田市・佐伯市・豊後大野市

内容 サロンの取り組みについて(事例発表)

○ノルディック・ウォークとコミュニケーション麻雀の推進

(2) ふれあい・いきいきサロン関係者の研修会

○ふれあい・いきいきサロンを支えるスタッフの健康知識やレクリエーションメニューの充実を図ることを目的として各種研修会を実施した。研修会は、レクリエーションインストラクター、NPO法人ヘルス・フィットネス・フォーラム理事長を講師に迎え実施した。

- ・協力者等研修会(2回・・・6月・3月 延べ340名参加)
- ・支援員・お助け隊・音楽お助け隊研修(合計3回 延べ46名参加)

(3) 新規サロン説明及びおためしサロン開催

H27年度実施3か所

3. 地域福祉ネットワークの推進

地域のネットワークづくりを推進するために、民生委員児童委員協議会や関係機関・団体と連携しながら事業を展開した。申請・更新情報を地域支援システムに入力し、災害時要援護者情報とのネットワーク化を図った。

(1) 地域支援システム入力事業

市より緊急雇用災害時要援護者支援事業の委託を受け、本匠・米水津・蒲江・弥生・青山の避難支援プランの情報入力を進めた。市内全域の緊急情報キット及び災害者援護マップにおける情報入力が終了した。また、登録済みの内容更新作業を行った。

入力済み実績

(平成 28 年 1 月末現在)

区分	緊急情報キット	災害援護者 マップ	避難支援 プラン	障がい者避難 支援プラン
件数	9,068	4,159	520	146

(2) 配食サービス事業

各地区社協と協働し、地域のひとり暮らし高齢者等へ安否確認と関係者の連携を深めることを目的として弁当を配布した。

○延べ配食数 3,126 食

○実施内訳

木立地区社協	11 回	延べ 433 食
米水津地区社協	11 回	延べ 494 食
佐伯東地区社協	3 回	延べ 334 食
下堅田地区社協	3 回	延べ 249 食
青山地区社協	2 回	延べ 46 食
八幡地区社協	2 回	延べ 337 食
佐伯地区社協	1 回	114 食
渡町台地区社協	1 回	271 食
上堅田地区社協	1 回	128 食
大入島地区社協	1 回	121 食
西上浦地区社協	1 回	124 食
本匠地区社協	1 回	77 食
蒲江地区社協	1 回	398 食

(3) ほのぼのネットワーク事業の推進

地区社協や民生委員児童委員協議会と連携し、ひとり暮らし高齢者や障がい者等の具体的な見守り体制づくりを行ってきた。見守り対象者へは緊急連絡カードを配布し、緊急時の連絡先をわかりやすくした。

○ほのぼのネットワーク登録者数 389 ネット (平成 28 年 3 月末現在)

4. 大規模災害に対応できる仕組みづくりや地域における災害対策の研究

(1) 防災研修会等への支援

○地区社協や自治会等が実施する防災研修会への支援を行った

・5 月 10 日(日)藤原区避難訓練一本部

・7 月 21 日(火)第1回蒲江(丸市尾)地区災害時要援護者支援対策会議－蒲江支部

- ・8月20日(木)第2回蒲江(丸市尾)地区災害時要援護者支援対策会議－蒲江支部
- ・10月22日(木)別府市石垣地区社協視察研修(受け入れ)－蒲江支部
- ・11月5日(木)第3回蒲江(丸市尾)地区災害時要援護者支援対策会議－蒲江支部
- ・11月8日(日)丸市尾地区「地域避難訓練」への職員派遣－蒲江支部
- ・11月8日(日)弥生尺間2区地域避難訓練－弥生支部、本部
- ・1月19日(火)大分市福祉保健課「丸市尾地区」視察研修(受け入れ)－蒲江支部
- ・1月28日(水)宇目地域防災研修－宇目支部、本部
- ・1月31日(日)寺田区防災学習会－本部
- ・2月14日(日)大入島地区災害ボランティア研修会
(避難時の搬送方法、炊き出し訓練)－本部
- ・2月29日(火)渡町台地区社協視察研修(丸市尾地区)における事業説明－蒲江支部

(2) 災害ボランティア運営リーダー研修への参加

- 県社協が実施する研修に職員3名が参加し、大規模災害に備えるための必要な知識や技術などを学んだ。
- 栃木県鹿沼市へ職員1名を災害派遣(9月17～21日)

(3) 防災訓練・研修会への参加

- 各地域で行われた研修会へ参加し連携を深めた
 - ・6月5日(金)大分県西部地区総合防災訓練へ職員1名参加。災害ボランティアセンター設置運営訓練を行った
- 防災士養成研修へ参加(5名養成)

(4) 避難所設置運営訓練

- 番匠体育館にて、避難所設置運営訓練を実施。実際の避難所を想定し、発災直後・3日後の運営を行いながら混乱期を体験することで、必要な支援や個々にできることを考えるきっかけとなった
- 災害ボランティアネットワーク協議会の各団体が参加し、医師会は「災害支援班」、薬剤師会は「モバイルファーマシ(医薬品供給車両)による調剤」、青山女性百人会とLPガス協会は「炊出訓練」として実践訓練を同時に行った。各団体の活動状況を知るとともに、社協との連携を強めた
期日:12月13日(日) 実施場所:番匠体育館
参加者:佐伯市社協56名、災害ボランティアネットワーク協議会58名、延岡市社協6名、大分県市町村社協5名、県社協2名、県1名 計128名

(5) 佐伯市災害ボランティアネットワーク協議会の実施

- 「顔の見える関係づくり」を基本に協議会を6回開催(訓練含む)。グループワークを行いながら平常時の活動等、情報共有しつながりを強めた
- 当会の避難所設置運営訓練へ参加したことで、平常時の活動を災害時どのように生かせるかなど、各団体で考えるきっかけとなった。

(6) モデル事業への参加

- 県社協が実施するモデル事業を佐伯市社協で行い、事業所数の多い社協としての災害対応を考えた。

5. 子育て支援の強化

(1) 児童館の運営<佐伯・上浦・蒲江>

市内3ヶ所の児童館事業の運営を行い、児童クラブ、子育てサロン、子育て広場、母親クラブ等の活動を行い、子供の健全な成長を支援した。

平成27年度 児童館利用状況			
	佐伯児童館	上浦児童館	蒲江児童館
児童館利用延べ人数	16,844 人	5,542 人	8,985 人
児童クラブ延べ人数		5,128 人	1,644 人
子育て支援延べ人数			208 人

(2) 第10回ちびっこフェスティバルの開催

福祉や防災の体験を取り入れ、親子で楽しい時間が共有できる「ちびっこフェスティバル」を開催した。高校生ボランティアの活躍や福祉施設、子どもたちの活動を支える多くの個人団体の協力があった。

日 時：平成27年8月23日(日)

場 所：保健福祉総合センター「和楽」

参加人数：市内の子どもと保護者 約400名 ボランティア 63名

内 容：福祉体験(車いす・手話・高齢者疑似体験・点字・アイマスク)、親子防災炊出訓練(ハイゼックスを使用)、防災クイズ・グッズ展示、自衛隊体験(紐結び体験・試着・車両展示)、折り紙、お茶席、チャレンジゲーム、綿菓子・かき氷ポップコーンコーナー、昔のあそびコーナーなど

(3) イベント託児事業

26年度で終了(登録ボランティアで高齢化と若い方は仕事に出始めたことにより確保することが困難になったため)

(4) 子育てサロンの推進

地域で子育て中の保護者の情報交換や集いの場として、主任児童委員等との協働により事業の普及や支援を行った。

○子育てサロン交流会・・・1回(「病児、病後児保育事業」「ホームスタート事業」について説明、子育てサロン情報誌について、その他情報交換)

○社協子育てサロン情報誌作成「子育てサロンへようこそ」350冊

<子育てサロン登録数>

支部名	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
サロン数	11	0	0	0	0	0	1	1	1	14

6. ボランティアの啓発や活動の支援

佐伯市社協では、支部ごとにボランティア団体の育成や活動支援を行っている。本部に設置している「佐伯市ボランティアセンター」では、ボランティア活動者の交流と情報提供の場所として次の事業を行い、活動を支援した。

(1) 収集ボランティア活動

書き損じはがき 245 枚、使用済み切手 6.0Kg、エコキャップ 190Kg(81,700 個)を団体へ送付し、盲導犬の育成や発展途上国への医療支援等に役立ててもらった。

(2) 相談・登録・斡旋事業

ボランティアに関する相談・支援と活動機会の提供および、活動に参加したい人と応援したい人を結ぶコーディネートを行った。

(3) 佐伯市ボランティア連絡協議会への支援

28 団体が所属している佐伯市ボランティア連絡協議会に対して、その事務局を担当するとともに交流会や研修会等運営に関する支援を行った。

・会員交流事業 ・先進地視察研修 ・県南ブロック研修会・県ボランティアNPO推進大会

(4) 福祉教育推進事業

①福祉体験プログラム事業

小中学校を中心に障がいの理解をすすめ、人を思いやる心を醸成するため、市内 17 か所の学校や児童館で延べ 18 回のアイマスク・盲導犬・車いす体験などを中心とした福祉体験を実施し、講師の派遣や必要機材の提供を行った。

②夏のボランティア体験事業

夏休み期間中、市内 39 ヶ所の福祉施設・福祉団体・NPOが、中学生・高校生を中心に延 102 名のボランティアを受け入れ、ボランティア体験を行った。

(5) ボランティア団体の状況

ボランティア団体の状況		(平成 28 年 3 月 31 日現在)	
社協で把握している団体数	74 団体 3,855 名 (内)ボランティア連絡協議会加入団体数 28 団体(うち企業ボラ1)		
	個人登録ボランティア	44 名	
ボランティア保険の加入状況	1,657 名	活動者の傷害、賠償補償保険(100 円補助)	
ボランティア行事用保険の活用状況	46 行事	行事ごとに加入するボランティア保険	
事故対応	1 名	活動中の事故に対する保険申請	
住民参加型在宅福祉サービス加入	1 団体	直川 直川地域協力隊	

7. 日常生活自立支援事業の実施

○大分県社会福祉協議会からの委託により日常生活自立支援事業を実施し、認知症高齢者等の生活支援を行った。

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

日常生活自立支援サービスの契約件数 (支部対応別)										
支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	51	1	7	4	1	0	1	1	4	70

※平成 27 年度新規契約件数:17 件

平成 27 年度解約件数:10 件

日常生活自立支援サービスに係る相談件数					
種別	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	27	6	12	0	45

8. 相談援助サービスの提供 133

(1) 相談事業

住民の生活全般にわたる相談の窓口として、相談援助サービスを提供した。

① 弁護士による無料法律相談会の開催

(ア) 社協会館「きずな」を会場として年間 16 回の法律相談会を開催し、延べ 133 件の相談を受けた。

② 民生委員児童委員による心配ごと相談会の開設

○支部で民生委員児童委員による相談会を開設した。

支部	佐伯	蒲江	合計
開催回数	12	6	18
相談件数	3	13	16

③ 職員による随時の相談

○電話や訪問により職員が相談に対応した。

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	171	78	260	21	136	101	17	60	212	1,056

相談内容別件数

生計問題	69	相続・財産問題	0
年金問題	1	事故問題	5
金銭問題(貸借・多重債務など)	2	人権相談	0
離職による相談	9	児童福祉関係	0
住宅問題	9	教育・青少年関係	13
家族問題	24	障がい者・児関係	49
結婚問題	0	老人福祉関係	796
離婚問題	10	父子・母子関係	0
不貞行為・慰謝料	0	苦情相談	2
健康・医療・介護問題	35	その他	21
近隣トラブル・境界線	11	合 計	1,056

④地域包括支援センターブランチ(高齢者)の相談

○地域に密着し見守りを行いながら、職員が相談・援助を行った。

軽度生活援助事業	0	虐待	65
食の自立支援事業	9	日常生活支援相談	94
福祉サービス相談(保険外)	113	認知症に関する相談	46
介護保険関係(申請相談等)	193	見守り・安否確認	3,372
権利擁護相談	2	その他	274
成年後見制度	0	合 計	4,168

(2)資金貸付事業

①生活福祉資金貸し付け事業

○大分県社会福祉協議会からの受託事業として、資金の貸付・償還指導を行った。

資金種類	新規貸付件数	金額
福祉資金・福祉費	1件	200,000円
総合支援資金	0件	0円
教育支援資金	2件	204,000円
緊急小口資金	11件	420,000円
合 計	14件	824,000円

※ 償還指導：5月13日・12月16日実施

②小口資金貸付事業

○社協単独事業として、民生委員児童委員と協働し短期的な貸付を行った。

資金種類	新規貸付件数	金額
生活資金	9件	258,000円
つなぎ資金	5件	108,000円
合 計	14件	366,000円

(3) 福祉器具等貸付事業

介護保険制度等に対応できず、福祉器具を一時的に必要としている人に対し、車いす等の貸出を行った。また、イベント用具やレク用品の貸し出しも行った。

(貸し出し回数)

福祉器具	回数	イベント用具	回数
車イス	32	かき氷機	32
福祉体験用品	4	綿がし機	35
音楽用品(楽器等)	10	ポップコーン機	19
災害体験用品	2	レク用品	96
おもちゃ	9	その他	6
		合計	245

9. 佐伯市生活困窮者自立相談支援事業(委託業務)

<事業所名称：佐伯市くらしサポートセンター「きずな」>

本年度より市からの受託事業として、生活困窮者に対する相談自立支援を行った。また、就労支援策として無料職業紹介所の開設準備を行った。

(1) 自立相談支援機関における相談業務

○事業初年度にあたり各団体の会合等に出席し、制度の周知やパンフレットの作成を行うなどした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	14	25	8	18	10	14	15	9	9	14	16	19	171
継続	3	18	38	35	23	20	33	36	29	27	37	54	353
プラン	0	1	1	3	0	0	0	3	0	1	0	1	10
就労者数	0	0	1	3	4	2	1	1	1	1	1	1	16

(2) 支援調整会議・連絡調整会議の開催

○支援調整会議を開催しプランについて協議した。(5回開催)
○支援連絡会議を開催し、関係機関との連携に努めた。

(3) 無料職業紹介所の開設準備

○無料職業紹介所を開設するため、申請を行い必須研修を受講した。
職業紹介責任者講習受講(福岡市)

(4) 就労支援

○何らかの要因で就労をためらっている相談者に対し、履歴書の添削やハローワークに同行するなどして積極的に就労支援を行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
履歴書添削	0	0	3	1	0	3	1	0	1	0	4	3	16
HW同行支援	0	1	3	0	0	3	3	2	1	1	3	2	19

○就労訓練を行う場の確保として、佐伯圏域障がい者共同サポートセンター「人とき」との就労訓練の協定を行い、調印式を開催した。(調印式:平成27年11月24日)

(5)「ほっとカフェ」の開催

○相談過程におけるひきこもり世帯を対象に、10月より毎月ほっとカフェを開催し、利用者のアセスメントを深めた。(6回開催)

(6)愛のひとしづく事業の活用

○歳末たすけあい募金の助成を受け、相談過程における生活困窮者に商品券を支給した。
(利用対象者:16名 総額:48,000円)

(7)おおいたくらしサポート事業

○市内の「おおいたくらしサポート事業」を実施する施設と協働して、相談者へライフライン普及支援や食料品等の生活支援を行った。(利用人数:4名)

10. 社協活動の広報啓発事業

(1)社協だよりの発行

社協だよりを全戸に配布し、事業の報告やお知らせなど社協活動の啓発を行った。

年間 6回発行 発行部数 33,000部/1回

号	発行日	主な内容
56	5月15日	くらしサポートセンター「きずな」設置、平成27年度事業計画・予算
57	7月15日	夏のボランティア体験月間、社協ちびっこフェスティバル、緊急情報キット、平成26年度事業・決算報告、社協会費のお願い、歳末募金助成金申請開始
58	9月15日	共同募金、福祉体験プログラム、日常生活自立支援事業、民生委員・児童委員だより、シニア婚活、コミュニケーション麻雀紹介
59	11月15日	いきいきサロン紹介、シニア世代元気事業、地域防災の取組「丸市尾地区」、災害時要援護者マップ事業、子どもとつくる避難経路ウォーキング、生活支援ボランティア講座
60	1月15日	避難所運営訓練、新年のあいさつ、生活福祉資金、高校生がサロン訪問交流
61	3月1日	ノルディックウォークで健康づくり、歳末たすけあい運動助成報告

(2)ホームページの管理運営

地域住民に社協の活動をより詳しく知ってもらい、よりホットな福祉情報を提供するためにホームページの更新・管理運営を行った。

27年度アクセス数 : 3,857回

(3)第10回 大分県地域福祉推進大会への参加

大分県と大分県社会福祉協議会、大分県共同募金会が主催の大会に参加し、福祉功労者の表彰等を受けた。

日時 : 平成27年9月16日(水)

場所 : 別府ビーコンプラザ

内容 : 福祉功労者の表彰及び感謝状授与、基調講演

受賞者 : 表彰者 16名、団体表彰 1団体

(4)イメージキャラクター「ひとしづくちゃん」による広報

社協事業やイベント・子育てサロンなどに出向き、地域住民とのふれあいや広報活動を行った
出演回数・11か所

(5)地域座談会

社協事業のPRと住民との意見交換を目的に実施した。(4か所)

11. 共同募金事業の取り組み

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金を実施し、歳末たすけあい募金は福祉事業を実施する各団体や歳末事業に対して助成した。

①赤い羽根共同募金の実績

○戸別募金を各世帯にお願いし、また街頭募金を市内2箇所で開催した。

項 目	件 数	金 額
戸別募金(各世帯からの募金)	14,541	8,015,628
街頭募金(10月1日に募金活動)	2箇所	20,965
職域募金(バッチ募金等)	132	150,710
個人募金	1	500
預金利息等		7,487
合 計		8,195,290

②歳末たすけあい募金の実績

○戸別募金を各世帯にお願いし、また学校や企業からも協力を得た。

項 目	件 数	金 額
戸別募金(各世帯からの募金)	19,286	4,283,629
街頭募金(地域での啓発活動)	2	11,972
法人募金(企業・会社等からの募金)	7	63,000
学校募金(学校からの募金)	4	140,953
職域募金(職場等からの募金)	9	121,970
個人募金	7	14,525
預金利息等		38,225
27年度 募金合計・・・①		4,674,274

③歳末たすけあい募金助成事業

○歳末たすけあい募金助成について運営委員会で助成方針を協議。

助成希望の募集を行い、団体助成・歳末に行われる事業に重点を置き、助成を行った。

項 目	件 数	金 額
福祉団体助成	94	3,800,622
歳末募金配分経費		299,000
27年度 助成合計・・・④		4,099,622

※7月15日～8月31日、助成団体の公募を行った。

※9月からの1か月間、各支部で審査委員会を開催し、助成団体の審査を行った。

※1月27日、社協会館きずなで助成金交付式を行った。

27年度 募金合計・・・①	4,674,274
26年度 剰余金・・・②	882,317
27年度 助成金原資・・・③=①+②	5,556,591
27年度 助成実績・・・④	4,099,622
27年度 剰余金 ⑤=③-④	1,456,969

④共同募金運営委員会の開催

	期 日	議 題
第1回	平成 27 年 6 月 29 日	平成 26 年度共同募金報告 平成 27 年度共同募金目標額について 平成 27 年度歳末たすけあい募金配分指針について
第2回	平成 27 年 12 月 25 日	平成 27 年度赤い羽根募金中間報告について 歳末たすけあい募金本部・支部助成について 歳末たすけあい募金公募事業助成の審査について

12. その他の事業

(1) 民生委員児童委員協議会との連携

民生委員児童委員協議会の事務局として民生委員児童委員・主任児童委員の活動支援や研修を行うとともに、相談活動等では連携・協力し対応を進めた。

○連携した事業の主なもの

- ・災害時要援護者支援マップの更新作業
- ・緊急キット事業の更新作業
- ・各サロン活動
- ・心配ごと相談会
- ・おめでとう訪問事業
- ・視察研修
- ・ほのぼのネットワーク

13. 支部事業

支部名	事業名	実施内容
佐伯支部	シニア婚活応援事業	9月の社協だよりで募集。申し込みは8名。 前年度のアンケートの中でパン作りに興味がある意見が多かったので、直川パン工房で実施。 現地集合し、パン工房の方からパン作りの流れの説明を受ける。生地を丸め、オーブンで焼き上げる間に自己紹介。お茶タイム、お話タイム。 パンの出来上がり後、反省会をする。参加者同士で気のあった人と連絡できるようアドレスの交換。 2回目の開催を予定するが参加者が少ないため実施できなかった。
上浦支部	上浦元気アップ体操	上浦ふれあいプラザを会場とし、経験豊富な健康運動実践指導者によるストレッチ、筋力トレーニング、有酸素トレーニング、ヨガ等を取り入れた介護予防運動プログラムを実施。 参加者(年間)延べ 508 名

弥生支部	地域防災講座	災害に備え、地区やサロンで地域住民を対象に簡易担架での搬送や車いすでの避難誘導の仕方を説明した。また、防災袋に入れるべき物の説明と非常食の試食を通じて、日頃からの準備の重要性を説明した。合わせて社協事業のPRを行った。 全10カ所 参加者数 148名
本匠支部	本匠お楽しみ会開催	本匠在住または出身者の若い世代が中心となって実行委員会を結成しお楽しみ会を企画し案内状の配布・運営まで行い、児童クラブ・独居の高齢者・若者が共に集い、軽い体操やレクリエーションゲームを行う等、楽しく世代間の交流を行った。 参加者 60名 支援者 20名
宇目支部	チャイルドシート貸出し事業	貸出し回数 44回 保有台数 チャイルド 5台 ジュニア 5台 ベビー 3台
	移送サービス事業	ボランティアとの協働で移動が困難な方の送迎サービスのべ39件/年 ボラ13名
	お洗濯支援事業	コインランドリーの管理運営と大きな洗濯物の洗濯代行サービスを実施した。4件
	地域防災研修	民生委員、地区社協役員、ボランティアを対象に宇目地域で災害が起こった場合を想定し、避難所での生活を体験。講話、ハイゼックスによる炊き出し、段ボール活用法、救命講習を行った。(参加者 22名)
直川支部	想いをかたちにする運動	直川地区住民の協力により、地域内23カ所に幟旗を設置してもらっている。平成25年度よりこの活動を開始し3年経過。幟旗も破損や色あせがひどい物に関しては取り替えを行い継続し、地域の見守り活動を啓発している。
	シニア世代元気事業	地域に在住のシニア世代を中心に健康寿命を延ばす事を目的にストレッチ体操等の指導を受けながら介護予防に取り組む。参加者 12名
鶴見支部	大島元気モリモリ事業	住み慣れた離島でいつまでも元気に生活できるよう、介護予防の大切さを伝えるとともに、作業療法士を講師として、自宅でも行えるトレーニングや体操を実践した。 (運動器具の使用法、めじろん体操、拮抗体操等) 3回コース 参加者 延べ87名
米水津支部	地域防災事業『安心安全なまちづくり』	地区内に避難路を示す手づくりの防災看板を製作した。地域内の高齢者を対象に“防災標語”を募集し、12作品を選定して6地区に設置した。 参加者 地域住民 34名

蒲江支部	災害時要援護者支援対策推進事業(モデル地域の継続支援)	丸市尾地区をモデル地域とし、南海トラフ地震を想定した避難訓練の支援や、災害時個別支援計画の作成を協同実施した。今回は、より迅速な避難誘導を目指す仕組みとして「黄色いハンカチ作戦」を提案し、実施した。
	福祉関係者研修会(福祉推進員事業)	民生委員や福祉推進員といった地区内における福祉関係者の相互連携の強化を目的に、研修会を実施した。今回は「ストレスケアと認知症」をテーマにして学んだ。参加者 105 名

<在宅福祉課>

1. 介護保険事業の状況

介護保険事業において、国は本来の介護保険制度の理念に基づき、介護予防を全面的に打ち出し、各サービス事業所が行うサービスに「自立支援」の考え方を、反映するよう求めている。佐伯市においても平成 27 年度が自立支援の考え方に立った「介護予防・日常生活支援総合事業」への移行の年となった。

各事業所では、要介護状態にならないための運動指導や認知症予防の取り組みを進めるとともに、職員の研修を重ね資質の向上に努めた。また、新たに作業療法士を雇用し、利用者の個別指導にも力を入れサービスの向上に努めた。しかしながら、「介護予防サービス」が「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行したため、その報酬単価の低下や利用回数の減少により収入が減少した。

(1) 居宅介護支援事業

平成 27 年度は 5 事業所であったものを、27 年度 4 月から 4 事業所に統合し経費と事業所運営の効率化を図った。20 名の居宅介護支援専門員(ケアマネージャー)が、在宅の要介護者の依頼により居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、そのサービス計画に基づき事業者との連絡調整を行った。介護予防プランについては、包括支援センターより積極的に受託し、地域住民の介護予防を支援した。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護保険収入等	総経費	収 支
平成 25 年度	20	91,368	83,799	7,589
平成 26 年度	22	85,845	94,634	△8,767
平成 27 年度	6	83,969	88,323	△4,348

※介護保険収入には介護予防プラン作成料を含む

(2) 訪問介護事業

訪問介護7事業所(サービス提供責任者12名、登録ヘルパー69名)の訪問介護員が利用者宅を訪問し、主に入浴・排泄などの身体介護や調理・洗濯・清掃などの生活支援を行った。また自立支援を目的として利用者に「めじろん体操」の指導も行った。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護報酬等収入	総経費	収 支
平成 25 年度	0	128,250	114,329	13,921
平成 26 年度	448	126,096	114,258	12,286
平成 27 年度	0	99,096	95,834	3,262

(3) 訪問入浴事業

蒲江支部のみで実施。利用者は、新規利用の方や入所する方もあり4人から5人で推移している。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護報酬等収入	総経費	収 支
平成 25 年度	0	1,283	1,267	16
平成 26 年度	0	2,183	1,599	584
平成 27 年度	0	2,487	2,371	161

(4) 通所介護事業(デイサービス)

佐伯支部・蒲江支部以外の9事業所で、食事・入浴などの日常生活上の支援や、生活行為向上のための支援を提供した。また、「介護予防・日常生活支援総合事業」のめじろん事業等に積極的に取り組み、作業療法士を中心に運動指導や認知症予防プログラムに積極的に取り組んだ。しかしながら中重度者を中心に施設入所や、リハビリを主としたサービスを行うデイケアに利用者が移り、要介護の利用者の減少傾向がみられる。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護報酬等収入	総経費	収 支
平成 25 年度	0	262,862	224,873	37,989
平成 26 年度	3,010	236,947	210,372	29,585
平成 27 年度	0	211,086	203,736	7,350

2. 障がい者を対象とした事業

市と連携して市受託事業の障がい者福祉サービス、障害者総合支援法による、身体障がい(児)者・知的障がい(児)者への訪問介護サービスを提供した。

(1) サービスごとの訪問回数

事業所	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	あまべ	蒲江	合 計
居宅介護	2,905	0	649	2	61	134	534	4,285

同行援護	1,058	0	29	0	0	0	0	1,087
移動支援	647	0	0	0	0	0	0	647
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	98	98

※移動支援・訪問入浴は受託事業

(2) 収支

(単位：千円)

年 度	市受託金	自立支援費等収入	総経費	収 支
平成 25 年度	1,778	15,160	13,813	3,125
平成 26 年度	2,914	14,838	14,025	3,727
平成 27 年度	2,739	15,587	15,202	3,124

(3) 障がい者共同生活援助事業(グループホーム)の開設準備

民間の建物を借り上げ、定員 5 名のグループホーム開設の準備を行い、平成 28 年 4 月 1 日開所の運びとなった。

3. 受託事業の状況

(1) 食の自立支援事業(配食サービス)

調理が困難な高齢者等に対し、定期的に栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否の確認を行った。

年度/支部	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	合 計
26	配食数	1,355	616	1,240	1,067	453	1,026	6,844
	受託額(円)	474,250	215,600	434,000	373,450	158,550	359,100	2,395,400
27	配食数	320	101	305	105	178	29	1,038
	受託額(円)	96,000	30,300	91,500	31,500	53,400	8,700	311,400

(2) 元気になるまで配食事業

日常生活支援総合事業(介護予防事業)のメニューとして27年度から開始された。要支援者又はサービス事業対象者が該当。

年度/支部	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	合 計
27	配食数	123	0	0	0	111	0	234
	受託額(円)	36,900	0	0	0	33,300	0	70,200

(3) 高齢者生活福祉センター居住部門及び生活支援ハウス運営事業

入居者に対し生活援助員を配置し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援した。

ハウス名	浅海井	蒲戸	弥生A	弥生B	本匠	宇目	鶴見	米水津	合計
定員	11	6	10	10	15	10	18	10	
平均入居者数	9.6	5.1	9.6	9.9	11.2	9.3	13.1	6.3	
受託金額(千円)	8,599	8,599	8,599	8,599	8,599	8,599	13,574	8,599	73,767

※軽度生活援助事業(ホームヘルパー) ～ 軽度生活援助事業は平成26年度末で廃止された。

4. 介護職員処遇改善への取組み

(1) 介護職員処遇改善加算金の手続きを行い、職員の処遇改善に努めた。

<施設福祉課> 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑

平成27年度は、施設の運営方針のもと、入居者の生活の質を向上させることに努め、職員の研修に力を入れてきた。記録の大切さを再認識し、ご家族や職員間の情報共有の資料となる記録の作成に取り組んだ。

ユニットフロアにおいては、ユニットケア導入計画に沿い、個別ケアを基本に、入居者が自分の住まいと思えるよう、それぞれの暮らしを継続していけるよう取り組みを行っている。

感染症対策については、昨年度に続き、面会者や、職員の出勤時の検温や、流行期以前からの予防の取り組みを行いインフルエンザも単発少数に抑えることができた。

地域との交流もたくさんの方々を迎え実施することができ、盆踊り花火大会では、準備からボランティアや中学生に協力を頂き、多くの来場者を迎え盛大に開催することができた。

1. 平成27年度 入居者の概要 (各年度末統計)

(1) 平均年齢

年 度		男 女 別 平 均 年 齢		平均年齢
		男 性	女 性	
24 年度	従来型	82歳9月	86歳8月	86歳1月
	ユニット	92歳9月	86歳10月	87歳5月
25 年度	従来型	83歳1月	87歳10月	87歳2月
	ユニット	94歳3月	86歳7月	87歳0月
26 年度	従来型	85歳8月	87歳11月	87歳7月
	ユニット	87歳5月	86歳10月	86歳10月
27 年度	従来型	82歳7月	87歳7月	86歳10月
	ユニット	89歳9月	86歳5月	86歳9月

(2) 要介護度別の割合

要 介 護 度	27年度 入居者の割合		27年度 全 体	26年度 全 体
	一般特養 (79)	ユニット (21)		

要介護 1	2.63%	10.00%	4.17%	3.06%
要介護 2	6.58%	25.00%	10.42%	16.32%
要介護 3	21.05%	30.00%	22.91%	20.41%
要介護 4	42.11%	20.00%	37.50%	38.78%
要介護 5	27.63%	15.00%	25.00%	21.43%

2. 職員の研修状況

月	研修名	主催	人数	備考（内容・対象者）
4	施設長・事務長会議	大分県老施協	1名	係長
5	第1回食事ケアリーダー研修①	大分県老施協	2名	介護職員
	職場におけるメンタルヘルス対策	佐伯労働基準監督署	1名	係長
	第1回県南ブロック施設長・事務長会議	大分県老施協	2名	苑長・係長
	第1回福祉施設連絡会	南海医療センター	1名	相談員
	☆ケアマネ全体研修	社協内部	2名	介護支援専門員
6	排泄初級セミナー①	大分県	2名	介護職員(2日間)
	第1回食事ケアリーダー研修②	大分県	2名	介護職員
	第1回福祉ネットワーク協議会	佐伯豊南高校	1名	苑長
	第1回管内栄養士研修会	大分県南部保健所	1名	栄養士
	☆介護職員現任研修 ・介護職としての接遇について	豊寿苑内部研修		苑長他全職員対象
7	雇用管理改善啓発セミナー	佐伯労働基準監督署	1名	苑長
	排泄初級セミナー②	大分県	2名	介護職員
	生活相談員研修	大分県老施協	1名	生活相談員
	☆介護職員現任研修 ・認知症について	豊寿苑内部研修		苑長他全職員対象
9	全国労働衛生週間説明会	佐伯労働基準監督署	1名	係長
	メンタルヘルス研修会	大分県老施協	1名	係長
	第1回佐伯地区医療・介護連携説明会	看護協会佐伯支部	1名	看護係長
	リスク・マネジメント視察研修 (特養はまゆう)			ヒヤリハット・事故報告後の対応について
10	第2回トータルケア研修 (食事ケア)	大分県老施協	3名	介護職員
	高齢者福祉施設相談員研修	大分県社協	1名	生活相談員
	消毒インストラクターフォローアップ講習会	南部保健所	1名	看護職員
	中津市社協との交流会	佐伯市社協・中津市社協	2名	苑長・看護係長

	虐待防止・事故防止研修会 ☆介護職員現任研修 ・感染症研修会	大分県老施協 豊寿苑内部研修	1名	介護職員 苑長他全職員対象 ・正しいマスクの付け方 ・嘔吐物処理勉強会
11	県南ブロック研修会 第2回管内栄養士研修会 衛生管理研修会 ☆介護職員現任研修 ・褥瘡予防について ☆拘束実体験研修	大分県老施協 大分県南部保健所 介護労働安定センター 豊寿苑内部研修	3名 1名 1名	介護支援専門員・相談員 栄養士 係長 苑長他全職員対象 ・ポジショニングの方法 新規採用者・異動者
12	第3回トータルケア研修 (認知症ケア) 認定調査員研修 介護職員中堅研修会 ☆ケアマネ全体研修会 ☆介護職員現任研修 ・看取りについて ・消毒インストラクター復命研修会	大分県老施協 佐伯市 大分県介護研修センター 社協内部 豊寿苑内部研修	1名 2名 2名 2名	介護職員 介護支援専門員 介護職員 介護支援専門員 苑長他全職員対象 ・看取り介護の指針 ・嘔吐物処理実践研修
1	権利擁護・虐待防止研修会 第2回佐伯地区医療・介護連携説明会 ユニットリーダー研修(講義) ☆介護職員現任研修 ・人権について ・防災について	大分県社協 看護協会佐伯市支部 ユニットケア研修センター 豊寿苑内部研修	1名 1名 1名	苑長 看護係長 ユニット介護職員 苑長他全職員対象 ・六曜とは他 ・洪水から避難するときのポイント (早めの避難と決断)
2	ユニットリーダー研修(実地) 介護職員によるたん吸引等説明会 第3回管内栄養士研修会 ☆介護職員現任研修 ・リスク・マネージメント事例研修	ユニットケア研修センター 大分県 大分県南部保健所 豊寿苑内部研修	1名 1名 1名	ユニット介護職員 係長 栄養士 苑長他全職員対象 ・寸劇を基にレポートの作成
3	第2回県南ブロック施設長・事務長会議 地域密着型介護施設説明会 ☆介護職員現任研修 ・リスク・マネージメント研修	大分県老施協 佐伯市 豊寿苑内部研修	2名 1名 1名	苑長・係長 係長 係長 苑長他全職員対象 ・一年間のまとめ
その他	新人職員研修	豊寿苑内部研修	新採用職員対象 3名/年間	

